

設立 50 周年祝う 記念絵本も制作

日本農業新聞掲載日：令和 7 年 11 月 28 日（金）

稻城市高尾ぶどう生産組合は 11 月上旬、稻城市の JA 東京みなみ稲城支店で、創設 50 周年記念祝賀会を開いた。同生産組合員と、稻城市的高橋勝浩市長、JA の小林和男組合長など関係各所から約 40 人が集まり、50 周年を盛大に祝った。

同生産組合は、東京生まれのブドウ「高尾」を中心に長年にわたり生産・販売してきた歴史ある組織。現在は 44 戸で構成する。

記念式典では、前回の創設 25 周年記念式典から現在までの事業実績や写真などを記載した記念誌と、高尾ぶどうの記念絵本「高尾ぶどうとぼく」を紹介した。この絵本は、稲城市内の小学校や図書館に寄贈する予定だ。

同生産組合の篠崎益朗組合長は「栽培環境などさまざまなことが変化してきているが、適応しながらこれからも励みたい」と感謝を伝えた。



篠崎組合長（左）から記念絵本を受け取る高橋市長（東京都稲城市で）